

令和4年度中野市立博物館協議会

審議会等の名称	中野市立博物館協議会
担当課（連絡先）	中野市立博物館 電話 22-2005（内線：8122）
開催日時	令和4年8月26日（金） 午後2時から午後4時25分
開催場所	中野市立博物館 休憩室
出席委員	岩戸貞彦委員、大西浩次委員、土屋積委員、水澤教子委員、宮下宏委員、宮本博委員、山田正子委員、山田正彦委員、湯本巖委員
出席職員	堀内教育長、舘林館長、小林副館長、大滝主査、柳生学芸員、細野学芸員
会議資料	令和3年度 中野市立博物館事業実績（資料1）、令和4年度 中野市立博物館事業経過及び事業計画（資料2）
会議内容	<p>委員10名中9名が出席。博物館条例第17条第2項により過半数の出席で成立するため、本協議会は成立。会長に大西委員、会長職務代理者に水澤委員を選出。</p> <p>(1) 令和3年度 中野市立博物館事業実績について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料1をもとに小林副館長が説明。 ○コロナ禍以前と以後の入館者数かどうか。 <ul style="list-style-type: none"> →コロナ禍以前の令和元年度では10,253人、以後の令和2年度は4,656人、令和3年度は5,597人となっている。令和3年度では県の要請により、65日間の閉館を行った。 ○博物館運営について。 <ul style="list-style-type: none"> →廃校となった小学校の校舎を増え続ける資料の収蔵に活用できないだろうか。 <p>(2) 令和4年度 中野市立博物館事業経過及び事業計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料2をもとに小林副館長が説明。 ○プラネタリウムの観覧料が600円というのは、他の県内施設と比べて高いと思う。 ○市民を巻き込んだ講座のデータ（資料・調査結果）を公開して、博物館と市民との「協働」による成果としてアピールしてはどうか。 ○中学生や高校生に的を絞った講座を企画し、若い世代を育てていってはどうか。 <p>(3) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○中野市も文化財保存活用地域計画を立てたらどうか。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○『広報なかの』の頁数(博物館)を増やすべきではないか。 ○『中野市誌』の更新はしないのか。